

高崎市立南小学校

環境問題に関心を持ち、環境に対する人間の役割と責任を理解し、
環境保全に参加する態度と環境問題の解決のための資質・能力を身に付けた子どもの育成を目指して

学校の取組

取組①

草花の栽培、野菜・米作り

低学年では、草花の栽培や野菜作りを通し、自然を身近に感じることで、環境問題に対する興味・関心の礎を築きます。高学年では、生物観察を通して、季節の変化を学習し、地域のボランティアの方の指導のもと、米作りや野菜作りに挑戦しています。ジャガイモは光合成の実験に使ったり、給食の食材として活用したりしました。

南小学校は、高崎駅の近くにあるビルに囲まれた学校です。しかし、校庭には桜の木や花壇の花々をはじめ、植物がたくさんあり、畑や田んぼ、ビオトープもあります。南小学校の児童はこれらの場所を使用して、生活科や理科、総合的な学習において、野菜や米などを栽培しながら、環境について学んでいます。

本校の環境活動のねらいと主な活動は次の通りです。

- ① 身近な環境（自然、社会、文化的環境等）や環境問題に対する興味・関心を育てる。
花壇・学年園での草花の栽培（1, 3, 4年）野菜（2, 3, 4, 6年）や米作り（5年）。
- ② 自分と環境への関わりや環境の現状に対する見方、考え方を養う。
榛名林間学校（5年）
- ③ 環境保全問題について主体的に関わっていかうとする意欲や行動力・実践力を育てる。
ペットボトルキャップ回収・ごみの分別

取組②

林間学校

5年生は、日帰りで榛名林間学校に行ってきました。榛名湖畔の散策や、クラフトで手作りスプーン体験などを行い、榛名の自然のすばらしさを満喫しました。



取組③

ペットボトルキャップの回収

ペットボトルのキャップを回収し、リサイクル資源と二酸化炭素削減運動に参加しています。ペットボトルをゴミとして焼却処分すると、二酸化炭素が発生し地球温暖化の原因となります。今年7月までに、約20kg（約800個）のペットボトルのキャップが集まりました。約400個あたり3.15kgの二酸化炭素が発生するので、約6kgを削減できたことになります。また、これは、約12人分のワクチンに相当します。今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため給食の牛乳パックのリサイクル活動は取り組んでいませんが、収束に向かえばまた、再開していきたいと思います。

ゴミの分別

各教室とも分別できるようにプラスチック用と紙ゴミのゴミ箱があります。また、古紙をリサイクルするためにリサイクルボックスもおいています。さらに分別が進むよう、全校で取り組んでいます。



その他

ビオトープ(トンボ池)

4年前に完成したビオトープも、少しずつ環境が整ってきました。いろいろな草木や水草が成長し、池にはメダカやタニシが暮らしています。トンボが来ている様子も見られ、ヤゴを見かけることもできます。

